



埼玉おもちゃ美術館

SAITAMA TOY MUSEUM

2025年9月6日(土)開館

Grand OPEN!

幼稚園を運営する学校法人が、「子育て支援事業」として展開するおもちゃ美術館が埼玉に誕生します。

「彩の国(さいのくに)」の愛称で呼ばれる埼玉県。四季折々の色彩豊かな自然に恵まれ、文化・生活など多様な「彩」を誇る地に、新しいおもちゃ美術館が誕生します。内装木質化した「イオン館(仮称)」と、園舎をリノベーションし現役の幼稚園としても使われる「幼稚園館(仮称)」。全国で唯一、2つの個性的な館からなるおもちゃ美術館です。良質な遊び、子育て支援、木育、多世代交流など、さまざまな価値を伝えていきます。

地域の文化を「木」で伝える美術館



笑顔があふれる、あそび体験型美術館



おもちゃ学芸員が遊びを案内



埼玉おもちゃ美術館について



埼玉おもちゃ美術館

SAITAMA TOY MUSEUM

※当チラシに使われている写真・パースは全てイメージです。

埼玉おもちゃ美術館は、三郷市内にある幼稚園内と、吉川美南駅前のイオンタウンに展開する、埼玉県産木材をふんだんに使った、多世代交流・子育て支援機能を有する広場の2拠点にて展開されます。2つのコンテンツが融合したミュージアムは、どちらも一般の方々の入場は可能で、さまざまな遊びを提供し、県内外の多くの笑顔を生み出すことを目的とした、おもちゃ美術館です。

赤ちゃん木育ひろば(イオン館 仮称)



2歳以下の赤ちゃんを対象とした空間に、ラトル、プルトイ、木のたまごプールなど、月齢に合わせたさまざまなおもちゃが揃います。

おもちゃのもり(幼稚園館 仮称)



まるで森の中にいるような空間の中で、虫取り遊びや魚釣り遊び、数多くのたまごプールなど、全国のおもちゃ美術館で人気の遊びが楽しめます。

収穫のさと(幼稚園館 仮称)



木でできた野菜や果物などを収穫するコーナー。埼玉県内でよく採れる野菜を集め、調理・販売などのおままごとができます。

東京おもちゃ美術館について ～広がるおもちゃ美術館～



東京おもちゃ美術館

TOKYO TOY MUSEUM

東京おもちゃ美術館

検索

東京おもちゃ美術館は、赤ちゃんからお年寄りまで豊かな出会いと楽しみを体感できるミュージアム。現在、日本全国の方々の協力のもと、姉妹おもちゃ美術館設立を進めています。埼玉おもちゃ美術館も、姉妹おもちゃ美術館として、共に力を合わせながら、多世代交流支援、木育の普及、良質な遊びの提供など、持続可能な社会の実現に向けた活動を進めています。

<https://art-play.or.jp/ttm/>



本誌に掲載内容に関しては、右記までお問い合わせください。

TEL:080-4380-7669

MAIL:info@socialimpact.ed.jp

担当:笠原

埼玉おもちゃ美術館 幼稚園

おもちゃ美術館と幼稚園を足すと、どんな幼稚園になるだろう？

木でできた野菜や果物などを収穫する遊びや、調理・販売などのおままごとができるコーナー。また、まるで森の中にいるような空間での虫取り遊びなど、「おもちゃ美術館ならではの」さまざまな遊びを、幼稚園に通いながら毎日楽しめます。

ご興味ある方、入園に向けて話を聞いてみたい方、ぜひQRコードからホームページの方をご確認ください。



▲幼稚園 外観(改修前)



園児募集、イベントなどはこちらのHPにて公開してまいります。



埼玉おもちゃ美術館

イオン館 〒342-0038 埼玉県吉川市美南3-25-1 東街区1階

幼稚園館 〒341-0001 埼玉県三郷市彦糸3-1-1 (埼玉おもちゃ美術館幼稚園)

※開館時間、入場料などの詳細に関しては、決まり次第順次公開していきます。

お問合せ: 学校法人ソーシャルインパクト学園 tel:080-4380-7669

吉川市・三郷市の両館は、学校法人ソーシャルインパクト学園が設立・運営を担い、おもちゃ美術館ゾーンは、東京おもちゃ美術館が総監修を行います。

両館は、「姉妹おもちゃ美術館協定」及び「埼玉おもちゃ美術館 幼稚園事業」の理念に基づき、子育て支援、良質な遊び、木育、多世代交流などを伝える、社会貢献型の施設です。